

A. 主な動き

1. 内政

▼ティモシェンコ前首相等に関する動き

- ・21日、ケリーOSCE代表部米国大使は、前政権関係者に対する政治的動機に基づく裁判への懸念を表明し、ティモシェンコ前首相及びルツェンコ元内相等の解放等をウクライナ政府に対し求める旨の声明を発表。
- ・23日、ハルキフ市キエフ地区裁判所は、ティモシェンコ前首相の健康問題等を理由に、同日予定していた「ウクライナ統一エネルギー・システム」社に関する同前首相の刑事事件の審理を7月31日に延期、同前首相の症状は安定しており、生命を脅かす危険はないとする法医学検査の結果を発表。
- ・24日、国家刑務所管理庁は、ハルキフにおけるティモシェンコ前首相の診察及び治療を実施するための保健省、同庁及び独病院「シャリテ」の合同医療専門家委員会の設置を提案。これに対し、同日、「バチキフシナ」党は、政権は同前首相の治療に関し挑発行為を継続している旨の非難声明を発表。
- ・24日、ティモシェンコ前首相公判の欧州議会監視員であるコックス元欧州議会議長は、アザーロフ首相と会談し、「ティモシェンコ問題」に関する欧州議会ミッションの実施状況を報告。
- ・25、27両日、キエフ市ペチェルスク地区裁判所は、ユーシチェンコ前大統領毒殺未遂事件の捜査における「職務上の過失」に関するルツェンコ元内相の公判を実施。27日、同裁判所は、同事件の審理の終了を宣言し、最終弁論を8月5日に実施する旨発表。
- ・27日、ボハティリョーヴァ副首相兼保健相は、ドイツ及びウクライナの医師から成る国際委員会がティモシェンコ前首相のリハビリ終了を宣言した旨発言。

▼野党の動き

- ・26日、統合野党「バチキフシナ」及び「スヴォボーダ」党は、最高会議選挙に向けた協力等に関する声明を発表し、両者が共同で最高会議選挙における小選挙区候補者リストを作成（225選挙区のうち統合野党「バチキフシナ」は190選挙区、「スヴォボーダ」党は35選挙区において候補者を擁立）することで合意した旨宣言。
- ・26日、クリチコ「ウダール」党党首は、5月に「我々のウクライナ」党評議会代表を辞任、離党したナリヴァイチェンコ元国家保安庁長官が「ウダール」党に加入した旨発言。
- ・27日、統合野党「バチキフシナ」は、最高会議選挙においてクリミア・タタール人組織「メジュリス」（ジェミレフ代表）との協力を合意した旨の声明を発表。

▼その他

- ・24日、レイバク地域党第一副党首は、同党はキエフ市長選挙を2013年に同市議会議員選挙と同時に実施することを提案する意向である旨発言。
- ・24日、シャポヴァル中央選挙管理委員会委員長は、最高会議選挙に際する全投票所へのビデオカメラ設置の効果に関し懐疑的である旨発言。27日、同委員長は、最高会議選挙の選挙運動開始日を7月30日とする旨宣言。
- ・26日、リトヴィン最高会議議長は、30日に最高会議臨時会議を召集する旨の命令に署名。
- ・27日、検事総局キエフ市支部は、野党系テレビ局TViのクニャジツキー代表に対して12日に開始された刑事訴追を嫌疑不十分により取りやめた旨発表。

2. 経済

▼マクロ経済

- ・24日、国家統計局は、2012年上半期のGDP成長率の暫定値を2.5%と発表。
- ・27日、国家統計局は、ウクライナの2012年6月の平均月収が対前月比3.1%増の3,109フリヴニャと発表。

▼政策

- ・26日、政府は、本年度の国家保証枠の引き上げを最高会議に要請。2012年度国家予算修正案によれば、新たな国家保証枠は、現行の150億フリヴニャから295億フリヴニャ引き上げられ445億フリヴニャ。同引き上げは、エネルギー部門における中国開発銀行からの融資額拡大が理由。
- ・27日、閣僚会議は、最高会議に提出された法案において、投資を行っている企業の利益税免除を提案。同法案によれば、2018年1月1日までは利益税を免除し、2018年1月1日以降、2022年12月31日まではこれを8%とする旨規定。

▼農業

- ・23日、ウクライナ穀物協会は、今穀物市場年（2012年7月～2013年6月）におけるウクライナの穀物供給量見通しを5,750万トンと発表。同供給量の内訳は、2012年収穫量4,530万トン、ストック1,199万トン及び輸入22万トン。
- ・25日、農業政策・食料省は、早春の南部の干ばつによる農業生産者の損害額は136億フリヴニャと発表。

▼その他

- ・26日、閣僚会議は、フメリニツキー原子力発電所3、4号機建設のためのフィージビリティ・スタディを実施することを承認。関連の決議は7月4日に採択され、建設のための総コストは368億フリヴニャ。

3. 外政

▼グリシチェンコ外相のベルギー訪問

- ・23日、グリシチェンコ外相は、ベルギーを訪問し、東方パートナーシップ外相会合に出席。
- ・同日、ブリュッセルにおいてグリシチェンコ外相、フューレ欧州拡大・近隣政策担当欧州委員及びエザクマーマルクリ・キプロス(2012年後半EU議長国)外相は、ウクライナ人のEU諸国への長期査証手続簡素化の対象を拡大する「査証手続簡素化に関するウクライナ・EU間協定の修正及び追加に関する合意」に署名。署名後、グリシチェンコ外相は、フューレ委員と会談し、ウクライナ・EU関係、特にエネルギー及び運輸分野における協力に関し協議。グリシチェンコ外相は、EUとの査証免除実現に向けた大きな一歩である旨発言し、フューレ委員は、ウクライナ・EU関係に困難はあるものの、EUはウクライナとの人的交流強化の意向がある旨発言。
- ・同日、グリシチェンコ外相は、レンデルス・ベルギー副首相兼外務・貿易・欧州問題相と会談し、ベルギー新内閣発足後の政治対話の活性化、両国間協力及びウクライナの欧州統合問題等に関し協議。

▼ヴォレベクOSCE少数民族高等弁務官の来訪

- ・25日、ヴォレベクOSCE少数民族高等弁務官は、ウクライナを訪問し、グリシチェンコ外相と会談。両者は、2013年に

ウクライナが議長国となるOSCEとウクライナの協力関係に関し協議。

- ・26日、同高等弁務官は、新しい言語法の採択過程に懸念を表明し、同法は深い分裂を招くとして、当局に議会における対話を要請する声明を発表。

▼その他

- ・24日、ヤヌコーヴィチ大統領は、CIS自由貿易圏協定の批准に関する法案を最高会議に提出。
- ・27日、アザーロフ首相は、ロンドンオリンピック開会式に出席。

4. 防衛

▼ウクライナ-露-ベラルーシ合同軍事演習「スラブ共同体2012」

- ・23日、ウクライナ-露-ベラルーシ合同軍事演習「スラブ共同体2012」が、ミコライフで開始、約340人が参加、空挺部隊隊員の上陸等を実施。

▼その他

- ・24日、国防省は、ウクライナ軍に最新のBTR-4E装甲兵員車を採用した旨発表。
- ・27日、ヤヌコーヴィチ大統領は、イリーン中將を海軍司令官に任命。
- ・27日、国防省は、ウクライナ軍に機動急襲部隊を創設する旨発表。

(了)